

令和4年度 浜松市立三方原小学校

～第1回学校運営協議会～



令和4年 5月18日(水)

浜松市立三方原小学校 会議室

令和4年度 浜松市立三方原小学校運営協議会 委員

1	冨永 厚平	三方原自治会長
2	小島 信夫	三方原南自治会長
3	峰野 郁夫	百里園自治会長
4	川越 正一	聖隷自治会長
5	杉山 まり子	民生委員
6	大石 千恵子	民生委員
7	高瀬 清光	令和4年度PTA会長
8	長谷 智恵	令和4年度PTA副会長

石川 博則	浜松市立三方原小学校長
松下 欣美	浜松市立三方原小学校 教頭
岩崎 美日	浜松市立三方原小学校 CS担当教職員
藤原 明子	学校支援コーディネーター兼CSディレクター

令和4年度 第1回三方原小学校運営協議会 式次第

進行 岩崎

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 新規委員任命書交付
- 4 自己紹介（委員・学校職員）
- 5 浜松市教育委員会より 教育委員会教育総務課 小川指導主事
- 6 副会長の指名（会長より指名）
- 7 議長の選出
- 8 前回会議録確認
- 9 熟議 司会 議長
 - (1) 学校運営の基本方針について （資料1）
 - (2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について （資料2）
- 10 連絡
 - ・ 第2回開催日 令和4年9月21日(水) 議長事前選出
 - ・ 第3回開催日 令和5年3月3日(金) 議長事前選出

【メモ】

(様式1)

令和3年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(三方原小)学校運営協議会長

必須

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校長から目標、問題点や課題を意識した指導など、丁寧な説明があり十分な熟議ができた。
- 校長のリーダーシップの元、熟議を通して学校運営の基本方針についての情報を理解することができた。

必須

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 学校の現状と目指す子ども像、そのために必要な支援策について、資料を用いながら丁寧な説明を受けた。その中で、委員が当事者意識を再認識し、有意義な熟議を行うことができた。
- 授業補助や花壇整備等、学校からの支援策を熟議することができた。

必須

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 良い教育、良い地域社会をつくるためには、教員だけではなく保護者や地域住民一人一人が教育の担い手であることについての認識を深める必要を感じた。
- 来年度への更なる向上に対する指標が示されたので、そこに向けて熟議をしていきたい。

グラウンドデザイン

<浜松市の教育理念>

「未来創造への人づくり」 「市民協働による人づくり」

<浜松の教育で目指す子供の姿>

○自分らしさを大切にすること子供 ○夢と希望を持ち続ける子供 ○これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供

<三方原中学校区の目指す子供像>

「志をもって生きる子」 ～ 挨拶のできる子 人の話を聴ける子 ～

校訓

正しく 強く 朗らかに

学校教育目標

夢を持ち 大地にかがやく子

<「夢を持ち 大地にかがやく子」とは>

夢と希望を持って、仲間と助け合ったり励まし合ったりしながら、粘り強く挑戦することを通して、生きていくために必要な資質・能力を育むとともに、自分らしさを磨いていく子供

学びいっぱい

(知育部 重点目標)

- 自分の思いや考えを、言葉で伝えることができる。
- 相手の思いや考えを受け止めながら、話を聴くことができる。

【知育部 成果指標】

- アンケート「子供は、相手に分かりやすく自分の考えを伝えることができる」に対する肯定的な回答の割合、職員75%以上
- アンケート「子供は、話を聴くときに、相手の気持ちに気を付けて話を聴いている」に対する肯定的な回答の割合、職員70%以上

笑顔いっぱい

(徳育部 重点目標)

- 心を込めた挨拶やはっきりした声で返事をするができる。
- 相手を大切に言葉遣いや行動ができる。

【徳育部 成果指標】

- アンケート「わたし(子供)は心を込めた挨拶をしている」に対する肯定的な回答の割合、子供90%以上、職員60%以上
- アンケート「子供は思いやりの心を大切にして生活している」に対する肯定的な回答の割合、職員90%以上

元気いっぱい

(体育部 重点目標)

- 外で元気よく遊び、特に投力を高めることができる。
- けがをしないように気を付けて生活することができる。

【体育部 成果指標】

- 新体力テストの「ソフトボール投げ」の平均が、男女ともに浜松市の平均を上回る割合70%以上
- 医者にかかる必要がある校内外事故各学期10件程度 ※年間40件以内

<主体的・対話的で深い学び> 「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力・人間性等の涵養」を目指した学び

<キャリア教育> 本校が教科学習や教科外活動、学校外の活動を通して子供に育てたい基礎的・汎用的能力

人間関係形成・社会形成能力 かかわる力



自己理解・自己管理能力 見つめる力



課題対応能力 解決する力



キャリアプランニング能力 イメージする力



発達支援教育の充実

特別な支援を要する子供の理解と、適切な指導(校内支援体制の整備・UDを生かした授業や交流学习の充実)

保護者や地域の方との連携

・地域の人材活用 ・学校運営協議会との連携 ・子供や家庭、地域の声を生かした教育活動

目指す学校像

- ・「知」「徳」「体」の3つを子供にバランスよく育てることができる学校
- ・学びが将来の生活や社会につながっていることを子供に実感(理解)させることができる学校

令和4年5月18日

浜松市立三方原小学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 小島 信夫 様

浜松市立三方原小学校運営協議会
会長 富永 厚平

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和4年5月18日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

学校教育目標具現に向け、キャリア教育を通して、子供たちの基礎的・汎用的能力を育てるべきである。

(1) 3年生

地域の農家の方やお店の協力を得て、ジャガイモを栽培したり、販売したりする。

(2) 4年生

シニアクラブの皆さんと交流したり、認知症講座を行ったりする。また、二分の一成人式を行う。

(3) 6年生

いろいろな職種の方に、仕事内容・やりがい等について、語っていただく場を設定する。

(4) 全校

挨拶運動の充実を図ったり、校内の環境整備を推進したりする。